

令和5年度 社会科

教科	社会科	科目	世界史探求	単位数	3	年次/コース	高校2年生/GA
使用教科書	第一学習社「高等学校 世界史探究」						
副教材など	グローバルワイド最新世界史図表(デジタル版)						

1. 学習の到達目標

<p>●科目について</p> <ul style="list-style-type: none"> 世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる諸事象について、地理的条件や日本の歴史と関連付けながら理解するとともに、諸資料から世界の歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。 世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる事象の意味や意義、特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現代世界とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、歴史に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。 世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に探究しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。 <p>●コンピテンシーについて</p> <ul style="list-style-type: none"> 生徒が歴史的な見方・考え方を用いて資料を読解する力を向上させ、情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身につける。 生徒が歴史的な見方・考え方を用いて様々な概念を多面的・多角的に考察し、課題解決をめざした構想ができるようになる。

2. 学習方法について

<p>●授業中において</p> <p>ただ教員の解説を聞くのではなく、各単元にある問い、もしくは自ら表現した問いを明らかにするために、他のクラスメイトとの対話、資料の読解等を積極的に行うこと。また、その際に歴史的な考え方である「時系列」「推移」「比較」「つながり」「現在」を意識して資料の読解を行うこと、さらに資料を扱う際の注意点「資料と資料の作り手の関係」「資料の信ぴょう性」などにも留意できるとなおい。</p> <p>●家庭学習において</p> <p>授業後のリフレクションには必ず取り組み、知識の定着だけでなく、自分の授業への取り組みをすぐに振り返ること。また定期的なテストに向け、自らの学習スケジュールや取り組み方を調整し、自主学習を行うこと。</p>
--

3. 学習評価（評価規準と評価方法）

観点	①：知識・技能	②：思考・判断・表現	③：主体的に学習に取り組む態度
観 点 の 趣 旨	<ul style="list-style-type: none"> 世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる諸事象について、地理的条件や日本の歴史と関連付けながら理解している。 諸資料から世界の歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けている。 	<ul style="list-style-type: none"> 世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる事象の意味や意義、特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現代世界とのつながりなどに着目できている。 概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、歴史に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論できる。 	<ul style="list-style-type: none"> 世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に探究しようとする態度がみられる。
評 価 方 法	<ul style="list-style-type: none"> 定期考査 単元テスト 	<ul style="list-style-type: none"> 定期考査 単元テスト レポート課題 リフレクション 	<ul style="list-style-type: none"> 単元テスト リフレクション 提出物

上に示す観点・評価方法に基づいて、各観点で評価し、学期末に当該学期の観点別学習状況の評価(A、B、Cの3段階)及び評定(1～5の5段階)にまとめます。また、学年末に年度を通しての観点別学習状況の評価(A、B、Cの3段階)及び評定(1～5の5段階)にまとめます。

4. 学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点			単元（題材）の評価規準	評価方法
			①	②	③		
1 学期	第1編 世界史へのまなざし	<p>・世界史学習の導入として、人類の歴史と地球環境との関わり、身の回りの諸事象と世界の歴史との関連性を学習する。</p>	○	○	○	<p>・人類の歴史と地球環境との関わり、私たちの日常生活が世界の歴史とつながっていることを理解する。</p> <p>・地球の歴史における人類の歴史の位置と人類の特性、身の回りの諸事象と世界の歴史との関連性を考察し、表現する。</p> <p>・諸資料を活用し、課題を追究したり解決したりする活動に主体的に取り組む。</p>	<p>・定期考査</p> <p>・単元テスト</p> <p>・レポート課題</p> <p>・リフレクション</p> <p>・提出物</p>
	第2編 諸地域の歴史的特質の形成	<p>・諸資料を活用し情報を読み取ったりまとめたりする技能を身に付け、諸地域の歴史的特質を読み解くための問いを表現する。</p> <p>・農耕・牧畜の起こりから各地に古代文明が形成される頃までの古代文明の歴史的特質を学習する。</p> <p>・西アジアと地中海周辺の諸国家、南アジ</p>	○	○	○	<p>・諸地域の歴史的特質を読み解く観点について考察し、問いを表現する。</p> <p>・諸地域の歴史的特質がどのように形成されたかを理解する。</p> <p>・諸地域の歴史的特質がどのように形成されたかを考察し、表現する。</p> <p>・諸資料を活用し、課題を追究したり解決したりする活動に主体的に取り組む。</p>	<p>・定期考査</p> <p>・単元テスト</p> <p>・レポート課題</p> <p>・リフレクション</p> <p>・提出物</p>

		アと東南アジア、東アジアと中央ユーラシア、ヨーロッパと西アジアにおけるキリスト教とイスラームを基盤とした国家の歴史的特質をそれぞれ学習する。					
2 学 期	第3編 諸地域の交流・再編	<ul style="list-style-type: none"> ・ 諸資料を活用し情報を読み取ったりまとめたりする技能を身に付け、諸地域の交流・再編を読み解くための問いを表現する。 ・ 海域と内陸にわたる諸地域の交流の広がり、諸地域の交易の進展とヨーロッパの進出を構造的に学習する。 ・ アジアの諸地域の特質，主権国 	○	○	○	<ul style="list-style-type: none"> ・ 諸地域の交流・再編を読み解く観点について考察し、問いを表現する。 ・ 諸地域の交流・再編がどのように進展したかを理解する。 ・ 諸地域の交流・再編がどのように進展したかを考察し、表現する。 ・ 諸資料を活用し、課題を追究したり解決したりする活動に主体的に取り組む。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 定期考査 ・ 単元テスト ・ レポート課題 ・ リフレクション ・ 提出物

	<p>家体制の形成と地球規模での交易の拡大を構造的に学習する。</p>					
<p>第4編 諸地域の結合・変容</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 諸地域の結合・変容を読み解くための問いを表現する。 ・ 国民国家と近代民主主義社会の形成、世界市場の形成とアジア諸国の変容を構造的に学習する。 ・ 世界分割の進展とナショナリズムの高まり、第一次世界大戦の展開と諸地域の変容を構造的に学習する。 ・ 国際関係の緊張と対立、第二次世界大戦の展開と諸地域の変容を構造的に学習する。 	○	○	○	<ul style="list-style-type: none"> ・ 諸地域の結合・変容を読み解く観点について考察し、問いを表現する。 ・ 諸地域の結合・変容がどのように進展したかを理解する。 ・ 諸地域の結合・変容がどのように進展したかを考察し、表現する。 ・ 諸資料を活用し、課題を追究したり解決したりする活動に主体的に取り組む。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 定期考査 ・ 単元テスト ・ レポート課題 ・ リフレクション ・ 提出物

3 学 期	<p>第5編 地球世界の課題</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・地球世界の課題を読み解くための問いを表現する。 ・1950～60年代にかけての冷戦の展開と第二次世界大戦後に独立した国々に残された課題などを学習する。 ・1970年代以降の世界の政治・経済のあり方の変容を学習する。 ・知識基盤社会の展開と課題を学習する。 ・諸資料を比較したり関連付けたりして読み解き、多面的・多角的に考察・構想して探究し、地球世界の課題を理解する。 	○	○	○	<ul style="list-style-type: none"> ・地球世界の課題を読み解く観点について考察し、問いを表現する。 ・第二次世界大戦後の現代世界において、どのような地球世界の課題が形成されたかを理解する。 ・二次世界大戦後の現代世界において、どのような地球世界の課題が形成されたかを考察し、表現する。 ・諸資料を活用し、課題を追究したり解決したりする活動に主体的に取り組む。 	<ul style="list-style-type: none"> ・定期考査 ・単元テスト ・レポート課題 ・リフレクション ・提出物
-------------	--------------------	--	---	---	---	--	--